



2003年3月10日 社団法人 長崎青年協会会報 278号

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団 法人 長崎青年協会

スローガン 「スクラム！」



新人事業（ゲートボール体験）於 戸町 多目的広場

今月の行事予定

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 5日(水) 理事会 | 8・9日(土・日) 親睦旅行（雲仙） |
| 11日(火) 次年度理事会 | 17日(月) 理事会 |
| 24日(月) 卒業者を送る夕べ（ホテルニュー長崎） | |

今月度事務局清掃担当委員会

役員・総務例会委員会

今月の二次懇親会担当委員会

総務例会委員会

～出欠の返事は確実にしよう～

2003
3

●臨時総会・例会●



会長挨拶

長崎に生まれて、長崎で育ち、そしてご縁を頂いて、長崎青年協会に入会して早16年が経ちました。そして平成14年度の会長をさせて頂き色々な思いが大切な財産として私の中に残りました。4月から3月までに繰り広げられた事業はもちろんのこと、理事会などの会議で出された意見、会員一人一人の想いであります。「こうしたはうがいいんじゃないか」「ああしたはうが楽しいですよ」そんなバラエティにとんだアイデアがよりよいものを作り出す第一歩でありました。そしてなによりも青年協会らしさ…はやっぱり汗を流すことだと再認識することができました。この一年間私、会長として微力ではありましたがOBの方々そして会員の熱い想いに支えられてここまでこれを感謝いたします。

そして4月からは青年協会35年目のスタートです。こんな時代だからこそ青年協会の素晴らしいを会員同士で確認して、さらなる「スクラム」を組んで皆で進んで行きましょう。本当に一年間ありがとうございました。

◀ 講 師 講 演 ▶

～演題「泣くな　嘆くな　甘えるな」～ 久保征幸OB

今年度の社業のスローガンは「逆境を光輝へ。苦悩を歓喜へスクラム組んで明日へのトライ！」を掲げる久保OBは、卒業して18年、本当に久し振りに憲章を唱和して発足当時の苦労を想い出し、目頭が熱くなったそうだ。青年協会が人生の全て・青春時代だったと話す内容は「数多くの人との出会い」「事業を達成した時の感動」が今の自分の礎になっている。とにかく青年協会は“宝”・“財産”であったそうだ。

終戦の年に出生、今の福井のゴルフ場付近で被爆するものの、両親の愛情と多くの人々に支えられ今日まで健康でいられた。

厳しく頑固な父親から「自分の人生は“自分で築け”」という教訓の中で、様々なアルバイトを経験した。そして、人に迷惑のかからない遊びで人生を学んだようだ。

家業を継ぐことで帰省し、毎晩銅座に飲みに行っていた頃、三浦OB・野村OBらと出会い「長崎青年協会」が発足した。

当初は、何をすれば良いかわからなかったので、まず、「長崎を知ろう」という事で、文化財の清掃から始めた。そして、芸能人を呼び敬老歓迎会を強行したが、“できない・できない”からどうしたらできるか”という発想の転換で成功を納めた。“必ずできる”という信念であった。そして、“皆で築こう明るい長崎”というタイトルで市内各地に1,000個のゴミカゴを配布した。この様に青年協会は自分を磨く場所で、人間としての資格を取得する場所でもある。間違ったら1からやり直せば良いのだ。



この不景気の中で“生き残る”的ではなく“勝ち残る”為にはどうしたら良いか・・・、「心」である。

全てに対して「心」は大事(だいじ)である。だからこそ、今の経済や環境はチャンスでもあり、いまこそ本当の「心」が見えてくるはずである。人と同じことをしてもダメ。アイディアを出し合おう。そしてこの世の宝である子供を増やすことで全てが解決するのではないか?

自己主張が出来る様にもなって欲しい。テレビのニュースや、情報番組・新聞によく目を通そう。

知識を増やし自分の考えをもとう。最後に礼儀・マナーを大切にすることが今の時代薄れているのではないか?青年よ!泣くな・嘆くな・甘えるな。自分の足で頑張れ!

熱い熱い情熱を戴き、誠に有り難うございました。

久保征幸OB（昭和60年度卒）
昭和44年入会 数々の要職を歴任
第4年度（昭和47年度）会長就任
現在飽の浦にて（有）久保建材店経営

<臨時総会の模様>



現役最後の議長職野島君とこれからの廣島君
議案を審議し、会員からの質疑に次期副会長の吉野君や、次期会長の前田君が応答し最終的に今回の議案は滞りなく決定承認された。



質問する坂上君

講演に引き続き、2月臨時総会が行われた。出席34名、委任状13名、合計47名により総会の成立が宣言され、総会議長として野島直前会長・議事録作成人として廣島君が指名され進められた。議案として平成15年度の役員選任の件、予算案・事業案承認の件、定款・諸規則変更の件、その他

<例会の模様>

2月21日(金)長崎ブリックホールにおいて二月度臨時総会・例会が行われた。末石君の司会の下、会長挨拶・役員報告・委員会報告・同好会報告が行われた。委員会報告の中では、研修開発委員会より2月の理事会で入会を承認された、片岡富美春君の紹介が行われ、今後の協会活動に対する意思表明があった。恒例の「青年協会へようこそ」の掛け声をし、片岡君の紹介は終了した。その後、2月23日に行われる新人事業(ゲートボール)について新人の方より熱血が行われた。あいにく廣島君しか来ておらずそれでも新人らしく一生懸命熱血を行った姿には、自分も初心にかえらないといけないと痛感した。熱血が終了した後、久保OBによる講師講演が行われた(前述)。講師講演後二月度臨時総会が行われた(前述)。臨時総会終了後再び例会に入り、誕生者祝・よろこび・青年協会の歌を唄い恒例の掛け声「青年協会ファイト」を阿比留君の音頭で締めくくり例会は終了した。



今月(2月)の誕生者の一部

出席率(2月度)

役員・監事		総務例会		広報		研修開発		交流		地域社会		合計	
9/10	90%	8/9	88%	5/11	45%	5/11	45%	5/13	38%	5/11	45%	37/65	56%

<二次懇親会の模様>

恒例の二次懇親会は、ブリックホールから歩いて10分の「k o u k a e n」へ。現役協会員として最後の例会を終えた野島君、寺本君、井手君、阿比留君も感慨深げな表情でした。その井手君の乾杯の音頭で始まり、いつもの様に異様な盛り上がりをみせつつも、必ずきてしまう終了時間。今回の締めは新人事業が2日後に迫った新人一同。(背が低くて見えない)リーダー井上君にかわり(のっぽの)サブリーダー廣島君の一本締めにて幕を閉じた。出席者は28名でした。



新人事業

ゲートボール体験

私も含め大半が“年配者のスポーツ”という考えが偏見であつたと気づくのに1ゲームを終了するまでの時間は必要なかった。

「自分さえ上がればいい」というものではなく、「地域」を取ったり、仲間のために「犠牲」になつたり、後先をよく考え何處にボールを「配置」したら良いかと、まさに頭脳的スポーツと言つても過言ではなかつた。

去る2月23日、今年度の新人事業が行われた。場所は戸町3丁目、建設中の女神大橋橋脚を西に臨むゲートボール場、人工芝のりっぱなコートである。

この日、ほとんどの会員が初めての《ゲートボール》を体験した。冒頭にも述べたが、“考えるスポーツ”で競技員の意見も相違するくらいの、攻防には一種の“信念”や“生き様”さえ感じられる程であった。

田川会長の挨拶にはじまり、長崎市ゲートボール協会の役員、審判団のご挨拶、各新人の挨拶の後、A、Bコートに別れて早速ゲームの開始。第一ゲートを樂々通過する者、何回やってもクリアできない者、自分だけ先に上がろうとする者、人の支援ばかりで結局自分は通過できない者、一人だけ第一ゲートを通過できない者と言うように会員の数だけのドラマが展開された。

2試合を終了した後、協議員の方々の見本ゲームを見学。スーパープレーに一同“あ然”。失礼ながらくさすが>の一言で全てを言い尽くせる内容であった。

お昼を迎えて、真に美味しい“特製雑炊”を食べ、午後のゲームに挑み、午前中のゲームよりは少しほとんどゲームになっていたようだ。

最後に競技員の方からの、ご挨拶を頂き、池田会員室長より総評、そして新人会員より一言ずつ感想を述べてもらい、リーダーの井上君より一本締めで無事「新人事業」が終了した。

前日、当日夜の天候がうそのような晴天に恵まれた当日はきっと、“必ずやり抜く”という新人リーダーの井上君、他4名の意気込みであったと確信する。

素晴らしい体験をさせてもらった新人事業であったことに感謝します。

新人事業リーダー井上君のコメント

今年度新人事業のリーダーを務めました井上です。午前中のゲームには参加せず、美味しい雑炊を作り上げてくれた瀬戸口君、限られた駐車スペースを最大限に活用してくれた谷川君、入会したばかりなのに率先して動いてくれた片岡君、当日仕事の都合でやむなく欠席してしまった宮崎君、そしてサブリーダーとして司会役、また未熟な私の足りない部分を補って余りある活躍を見てくれた廣島君。彼らのおかげで無事終了する事が出来ました。本当にお疲れ様でした。そして、貴重な休日を我々の為に費やしてくれた協会員の皆様、また、素人集団に解りやすくゲートボールの楽しさ、奥深さを教えて頂いた長崎市ゲートボール協会の皆様。本当にありがとうございました。これからも新人一同、頑張っていきますのでどうぞよろしくお願ひ致します。尚、櫻王にて反省会を兼ねた打上げを行いました。大変有意義な一日でした。



本当に頑張った新人



まったくセンスがなく一人取り残された○○君



会長と一緒に廻りました

ランタンフェスティバル(媽祖行列)の報告

「一回参加ばしてみよ～や。」2月2日の日曜日、T先輩に誘われ、媽祖行列(まぞぎょうれつ)に參加しました。幸運にも晴天に恵まれ、さして寒くもなかったです。

11時30分に孔子廟の前の華僑の学校(長崎時中学校)跡地に集合。行列は14時からとも聞いていたので、何をするのかと思ってましたが、チャイナ服に着替えたり、孔子廟でリハーサルやったり館内町に移動したりで結構時間経ちました。



いつも自然体の板倉OB

特別な歴史に思いを巡らし…実際、話として良く出来ているとは思いました。が、当然それだけでは面白くないので、旅の途中で出会った妖怪二名が、媽祖さまと出会った事でそれまでの悪行を改め、それぞれの特徴を活かした踊りを見せるのが主眼になっています。



田中潤介OBも大活躍

(右から3番目)

い。特に順風耳は十年間、つまりランタンフェスティバルが始まってからず～っとやっているらしい。なるほどはまり役なはずです。

僕は、その二名のスグ前を4メートルくらいの竹を掲げて歩く笹持ち(ささもち)でした。神輿(みこし)持ちなんかに比べたら比較的楽なのですが、それでも電線やなんかをずっと気にして上ばつか見てたので、知り合いとは誰とも会わず、挨拶も出来ずじまいでした。

僕は今回初めて見た媽祖行列にいきなり参加させてもらい、大変記念になりました。参加して初めてわかった事もたくさんあります。自分の時間を使う事に抵抗がある若い会員の方も多いでしょうが、十分それに見合う体験を得る事ができますよ。それがボランティアの醍醐味じゃないでしょうか。協会のOBの方々がたくさんスタッフとして参加されてました。協会を卒業された後もこうした新しい長崎の催し物を率先して創り、運営しているのを見ました。現役時代と変わらぬ、長崎への地域愛を感じ、本当に頭が下がります。

17時30分頃市民会館で着替えをして日常に戻りました。充実した休日でした。

媽祖行列とはその昔の中国の福建省から長崎へ船旅の無事を祈る催し物。商売や交易の女神様である媽祖さまを一行の中に奉っていたのですが、当長崎滞在期間中は寺町の興福寺に安置していたとのこと。

こんにち復元された媽祖行列は、中国に見たてた館内町の福建会館を基点に、途中新地の湊公園、浜の町アーケード、眼鏡橋そして安置場所の興福寺にて、それぞれ荷主に扮した二人が中国式のお祈りをするものです。また1週間の滞在後は、逆コースの「船旅」もあるわけです。

まあ故事に倣ったイベントをはじめ

に復元して、かつての中国と長崎との間に良好な往来があったことを示すもので、実際に見えて嬉しいです。

この妖怪二名はそれぞれ順風耳(じゅんぶうじ)と千里眼(せんりがん)と言、行く手にはびこる悪を事前に察知し、荷主や媽祖さまに危害が及ぼぬようにしておるそうです。実際中国京劇のような剣を使った踊りは、ちょっとした見物でした。

というは二人ともそれぞれ2メートルと1.9メートルあろうかという大男。その二人が派手な衣装と凄いメイクでもって、のしのしと歩き踊るのでそりや目立ちます。



有志で出した出店の店長

といふのは二人ともそれなりに才能があるようですね。



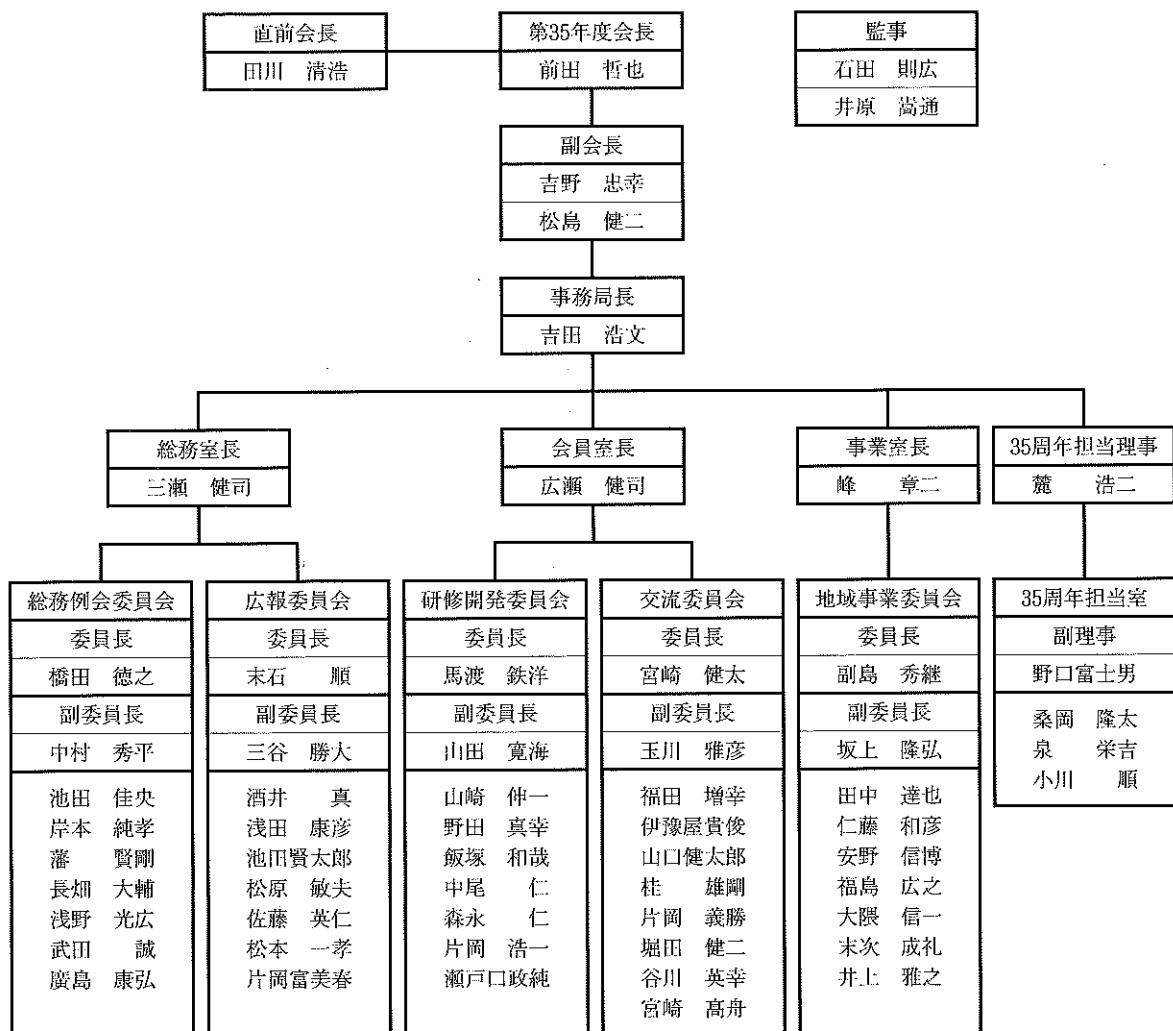
媽祖様



下に～、下に～

また来年～！

2003年度 社団法人長崎青年協会 組織図



～アルバムのページ～



次年度理事者の発表

久しぶりの
Koukaen

吉野次年度副会長

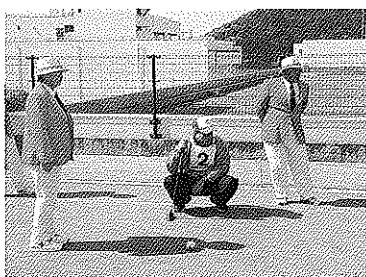
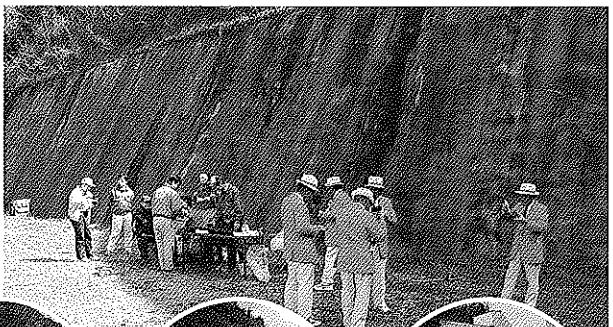


井手監事の乾杯

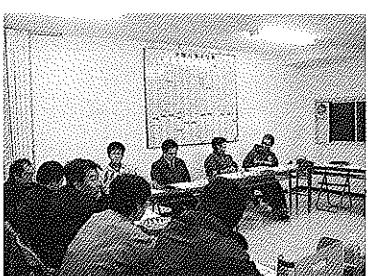
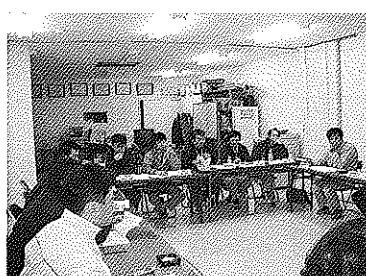
微妙においしかった雑炊を皆で食べました



正装での協会の方々



スライスかな？ フックかな？



平成14年度の理事会風景

今月の誕生者

☆藩 賢剛君 昭和44年3月17日生（平成9年2月入会・在籍6年）34歳
 ☆山田 寛海君 昭和48年3月17日生（平成12年7月入会・在籍3年）30歳

新人紹介

カタオカ フミハル
片岡 富美春 君

昭和42年7月14日生 B型 35歳

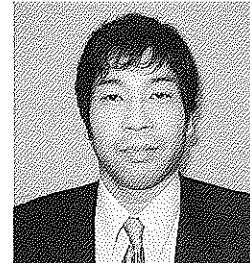
長崎市秋月町に奥様と子供3人の5人家族

仕事：本格焼酎BAR「でっち」経営（浜口町）

趣味：車・読書

一言：お店共々よろしくお願いします。

第一推薦者：松原 敏夫 第二推薦者：宮崎 健太

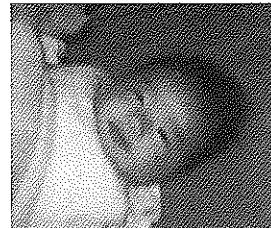
**研修開発委員会 長畠大輔君**

名前：長畠朋花（ながはた ほのか）

生年月日：平成14年12月4日

体重：3005グラム

娘に一言：人に優しく、夢を持ち、問題を先送りにせず、家族を大切にして……、とにかく健やかに育って下さい。

**35周年企画推進室より～今年度振り返って～**

今年度35周年企画推進室として、次年度のお手伝いをという事で活動してまいりました。基本的に3つの柱で活動しました。1つは次年度35周年に対する、記念事業・式典に対する提案。2つ目は定款の見直し。3つ目は管理費・事業費の問題。1年間この3つの事で話をしてきて、答申書として次年度の会長・役員の方に提出する事となりました。坂上副理事長はじめ、プロジェクトのメンバーの方々ありがとうございました。次年度の担当委員長は大変でしょうが、フォローはしていきますので共にスクラムを組んで頑張っていきましょう。

4月の行事予定 7日(月) 新年度理事会

15日(火) 新年度理事会

21日(月) 新年度定時総会（東映ホテル） 25～29日(金～火) 2003長崎帆船祭り

4月度事務局清掃担当委員会 新年度広報委員会 **二次懇親会担当委員会** 新年度総務例会委員会

編後記

協会の広報活動を通して、私の率直な感想は「全ての面で、もっと自分に余裕があつたら……」ということである。

我々は“家庭”や“社会”という現実の中に位置し、毎日の“生活”という闇いの中で共に暮らす社会人である。本当のラガーマン（前号参照）になるにはまず、自分の心を豊かにすることが一番大切なではないだろうか。

しかし、この1年間の取材活動を通して、意外と「協会活動は面白い」ものだと、あと1年を残して感じたことも事実である。間もなく今年度のノーサイドの笛が吹かれる……と、同時にそれは平成15年度のキックオフの合図でもある。

最後にもう一度この言葉で一年間を締めくくりたい。

……《One for all, all for one. (一人は皆の為に 皆は一人の為に)》……

発行 社団法人長崎青年協会 会長・田川清浩 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階

TEL 095-821-1625 FAX 095-823-7375

編集 広報委員会委員長・仁藤和彦 副委員長・三瀬健司 福田増幸 広瀬健司 岸本純孝

福島広之 中尾 仁 桂 雄剛 片岡浩一 橋田徳之 井上雅之

印刷 昭英印刷有限会社 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231